

## 第 12 回防災文化講演会～これからの自主防災組織を気仙沼から考える～を開催しました (2016/5/21)

テーマ：地域防災，自主防災

URL：http://irides.tohoku.ac.jp/organization/kesenuma/kouenkai.html

5月21日（土）に、気仙沼市役所ワンテン庁舎大ホール（宮城県気仙沼市）にて、「第12回防災文化講演会～これからの自主防災組織を気仙沼から考える～」（主催：東北大学災害科学国際研究所，共催：気仙沼市）を開催しました。当研究所は平成25年7月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、気仙沼分室（通称：気仙沼サテライト）を気仙沼市内に設置して、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでいます。その活動の一環として、防災に関する講演会を年に数回開催しています。

第12回を迎えた今回は、同WG長の川島秀一教授（人間・社会対応研究部門）の冒頭挨拶の後、「自主防災」をテーマに講演と総合討論を行いました。講演では、「学問の視点から」として、当研究所・松本行真准教授（リーディング大学院）からいわき市沿岸部における津波避難に関する住民組織の事例分析と自主防災組織のあり方を考えるための視点の提起を、「現地・地域の視点から」として気仙沼市自主防災組織連絡協議会・臼井弘会長から滝の入2地区における防災活動を、行政からは「熊本地震の被災地での応援体験」について気仙沼市危機管理課・村上充主幹から話題提供がありました。その後、佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）がコーディネーターをつとめ、講演者や参加いただいた方々と総合討論を行いました。総合討論では、避難行動要支援者の情報管理の実態や地域内の土砂災害防止策に関する情報・意見交換がなされました。講演、総合討論とも活発な議論が行われ、休日にもかかわらず約80名にご参加いただき、会場が満席となりました。

「いわき市沿岸部の事例から－四倉・豊間地区」

東北大学災害科学国際研究所 准教授 松本行真

「自主防災組織と自助・近助・共助の実践」

気仙沼市自主防災組織連絡協議会 会長 臼井弘

「熊本地震の被災地における応援体験から」

気仙沼市危機管理課 主幹 村上充



冒頭挨拶・川島秀一教授



講演①・松本行真准教授



講演②・臼井弘氏



講演③・村上充氏



総合討論



会場の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）